

2025年4月1日

武州交通興業株式会社 2025年度 環境行動計画

1.環境保全活動への取組についての現状把握と課題

(『グリーン経営推進チェックリスト』に基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の充実

環境方針を策定し、環境保全管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどして遂行している。今後も、環境保全に関する積極的な取組項目を定め、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝えて環境保全意識の向上を図るなどの取組を進めていく。

(2) エコドライブの実施

アイドリングストップの励行やエコドライブの基礎的教育、バス利用者への環境保全の取組への理解を求めするなど、行っている。全社的に燃費向上に努めており、今後も引継ぎ燃費を向上とエコドライブ推進に努める。

(3) 低公害車の導入

低公害車は一部導入済みで、今後の低公害車等や最新規制適合ディーゼル車などの導入(代替)計画も策定している。導入計画の達成は経営上難しいことが多いが、できるだけその実現に努める。また、各車両の排ガス規制法令適合状況の把握は出来ており、規制に基づく適切な配車管理も出来ている。今後とも適正な車両管理を続ける。

(4) 自動車の点検・整備

点検・整備の基準を定め、基準に従って実施している。今後は実施の状況や成果を見ながらより合理的な実施が出来るよう基準や点検・整備に関する教育を見直していく。

(5) 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進

廃油等の廃棄物はリサイクルや適正処理をする事業者へ委託し処理している。従業員へ廃棄物に関する教育も実施している。今後、点検・整備基準の見直しを通じて、廃棄物の量を減らす取組を進める。

(6) 管理部門（事務所）における環境保全の推進

管理部門従業員に対する環境教育は現地従業員とともに実施し、『事務所における環境保全の取組』に関する周知は行っている。その内の空調機器の見直し、適正温度設定、エコマーク製品の購入、不要照明の消灯等は実施している。また、今年度中、1週間に1回ノー残業デーを設定し、環境に配慮した活動を推進する。

2.目標

武州交通興業（株）、本社営業所、瑞穂営業所、東京城西営業所、東京城南営業所、埼玉中央営業所、越谷営業所は「グリーン経営認証」を継続し、旅客運送事業を通じて、環境にやさしい企業を目指します。また、2023年に新設された東京城北営業所についても、グリーン経営認証を取得します。

2025年度の燃費目標は対前年度改善費1%とします。

以下に環境行動計画の具体例を記載します。

- ① アイドリングストップの徹底
- ② エコドライブの実践

エコドライブの実践について

- 過度な暖機運転をしない。
- 急発進、急加速、急ブレーキはしない。
- 定速走行、経済速度に努めましょう。
- 無駄な空ぶかしはしない
- 駐車・停車中はアイドリングストップに努めましょう。
- タイヤ空気圧を適正にしましょう。
- 不必要なエアコン使用、過度のエアコン使用は控えましょう。
- 車内に無駄な荷物を積まない。

③ 4R 運動の実践

→4R 運動（**Refuse** ゴミになるものを断つ、**Reduce** 買う量、使う量を減らす、**Recycle** 資源に再生して再利用、**Reuse** 繰り返し使う）を実践する。

2025年4月1日

武州交通興業株式会社

環境保全管理責任者：代表取締役 足立 邦彦